

数学科 2 年

筆記用具と同じように学習道具として使う

担当 草場 博文

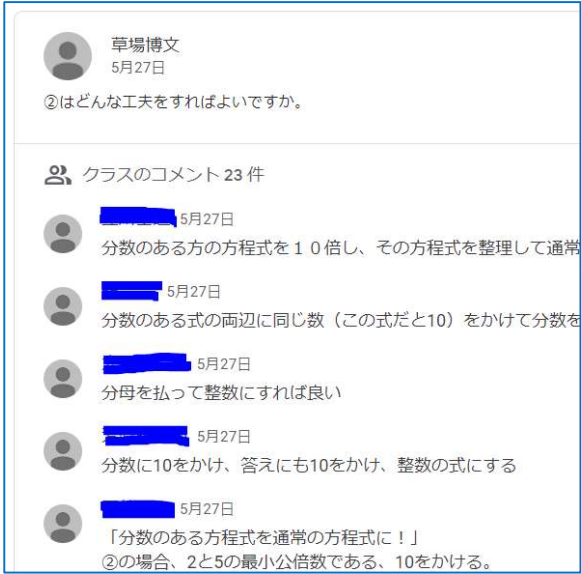

【このレポートの目標】

一人一台端末である Chromebook を、生徒が自らの目的に応じて自主的に使う事例を通して、学習道具として定着させる。

【 問 い 】

Chromebook を効果的な学習を生む道具としてどのように使えばよいか。

これまでの授業で行ってきたことのうち何を Chromebook に置き換えるとよいか

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
<p><b>C1 発表や話し合い</b> Classroom のストリームを活用して意見発表</p> 	<p>ペア等で話し合ったことや一問一答に対する発表</p> <p><b>【ICT 機器を活用する良さ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表は 1 対多になるのに対し、多対多の状況を作り出せる。より多くの意見を引き出すことができる。</li> <li>○微妙な表現の違いに焦点をあてて正しい表現方法（用語の使い方）などの指導ができる。</li> <li>○発表を苦手とする生徒も皆の意見を参考にして自分の考えを持つことができる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別な数式（分数など）をかくことができない。 ⇒質問内容を工夫する</li> <li>○入力に時間がかかる ⇒ 慣れによる解決</li> </ul>
<p><b>B5 家庭学習</b> 板書を写真で記録する</p> 	<p>授業中にノートに記録</p> <p><b>【ICT 機器を活用する良さ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中にノートを取ることに気を取られず考えることに時間を多く費やせる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、持ち帰りができない ⇒持ち帰りルールの確立、保護者の協力体制 生徒のマナーの向上、自己管理の意識向上 家庭における Wi-Fi 環境整備</li> </ul>